

国際化時代の大学教育



グローバル化が進む現代における大学教育や本学の留学制度について、2年後にいよいよ50周年を迎える同窓会について、末安理事長、木船学長、小川同窓会会長、脇田同窓会副会長が語り合いました。

GREETING ご挨拶

学校法人 名古屋学院大学 理事長
末安 堅二



同窓生の皆様には、平素より本学の教育ならびに研究活動に対してご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ご承知のように本学は、F・C・クライン博士が創設した名古屋英和学校からの精神を受け継ぎ、建学の精神「敬神愛人」の下、キリスト教主義教育を進めて参りました。また、約4万5000人へのぼる卒業生諸氏は、中部地区をはじめ国内、国外の様々な分野で活躍されており、心強くも嬉しく思っています。

さて、昨今、大学を取巻く環境はかつてない程の激変に見舞われ、大きな転換期を迎えています。2018年問題と言われる学生数の減少はもとより、グローバル化の急速な進展、高大接続改革など教育制度改革の動き、多様化する諸問題や社会からの要請など、大学はスピード感をもって対応していくことが強く求められています。

本学では、今後もこれらの状況変化を的確に受けとめ、進んで教育改革や教育環境の整備を進め、教職員一丸となつて大学の発展に努めていく所存であります。同窓生の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

名古屋学院大学 学長
木船 久雄



同窓会の皆様には、日頃より格段のご支援を賜り深く御礼申し上げます。

1964年に単科大学として開学した本学も、現在では名古屋キャンパス、瀬戸キャンパスに8学部11学科、2研究科、1別科を擁し、約6000名の学生が学ぶ総合大学へと躍進を遂げています。

本学は建学の精神「敬神愛人」の下、人格教育を進めるとともに、伝統と実績のある留学制度や充実したキャリア教育、情報通信技術（ICT）の活用、地域と連携した学びなど、学生一人ひとりの「着実な成長」を促す多様なプログラムを展開しています。また、現在、名古屋キャンパス近隣地に本学のグローバル教育拠点となる新学舎の建設を計画しており、更に教育環境・学習機能等の充実をはかり、教育効果を高めていく所存です。新学舎の構想をはじめ、今後とも時代や社会の要請に応えながら教育改革を進め、より良い大学づくりを進めて参ります。

同窓会の皆様には、今後ともより一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

名古屋学院大学の 目指す国際人の育成

最近のグローバルな社会的環境の変化と現状において、名古屋学院大学が目指す国際化について伺えますでしょうか。

木船学長（以下、学長） 大学の国際化とグローバル人材の育成については近年、文科省および経済界からの要請もありますが、そもそも名古屋学院大学は名古屋英和学校から始まるキリスト教主義の学校ですので、国際性や異文化理解、多文化共生などについては、スタート時点から取り組んできています。本学のDNAとしてあるわけですね。

最近で言えば2年前に国際文化学部ができて、外国語学部と合わせて国際性を標榜する学部が二つ揃いました。これらが核となるのは間違いありません。また従来の経済学部、商学部、法学部、そしてスポーツ健康学部などの「見「外国」とは直接関係ない学部でも、国際的な教養を持つて海外と交流できる人材の育成を、1964年の開学時からずっとやってきました。全学でそうした教育に取り組むことを、これからも大事にしていきたいと考えています。

そのために今取り組んでいるのが、新学舎となる大宝学舎の建設です。これは多文化共生、国際理解、言葉の習得をテーマにした学舎で、「グローバルリンクス（仮称）」といっています。外国語しか使わないエリアも構想しており、英語の他、中国語、タイ語、韓国語、ポランド語、インドネシア語などいろんな言葉が学内で飛び交う国際的な空間にしたいと考えています。海外に対して垣根を設けず自然体で交流できる、そういう人材を育成していきたいですね。

同窓会 会長
小川 博司



秋涼の候、皆様には、ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、同窓会運営にご支援・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

去る、4月21日の代議員会において、理事任期満了に伴い改選を行い、新たに5名の方に理事になつていただき、監事1名を新しく選任いたしました。前年度理事及び監事の方々には、同窓会運営にご尽力いただきましてありがとうございます。この場をお借りいたしまして、お礼申し上げます。

今年のホームカミングデーは、名古屋の白鳥キャンパスで10月23日（日）に、大学祭と合わせて開催いたします。同窓生及びご家族の皆様、特にお子様方にも楽しいひと時を過ごして頂けるような企画を考えておりますので、ご家族ご友人とお誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。また、会報につきましても、より充実した情報をより多くの方々に届けてゆきたいと思っております。

これからも、役員、理事、代議員の方々にご協力頂き、今までにない新たな企画やアイデアを前面に出し、より良い同窓会にしたいと思っておりますので、これまで以上に「ご支援」とご協力をお願い申し上げます。



同窓会 会長
小川 博司

名古屋学院大学 理事長
末安 堅二

名古屋学院大学 学長
木船 久雄

同窓会 副会長
脇田 芳徳

末安理事長（以下、理事長） 今、日本という国自身が大きな転換期を迎えていると思います。私たちの若い頃と違い、今の若い人たちは物質的には大変恵まれています。しかし今は高齢化と少子化が進みます。日本は国内市場はぐっと縮小するというリスクを孕んでいます。そうした中で日本が成長していく為には、国際社会の中できちんと役割を果たせるような国であり続けたい、国の存在そのものが厳しい状況になっていきます。